

平成 18 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

刑 法 問 題 紙

B 日程

平成 18 年 2 月 26 日

15 : 00 ~ 16 : 30 (90 分)

(120 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

問題 1 (配点 60 点)

Xが混雑した駅構内の階段を「下り」の表示に従って降りていた際、階段を逆行してきたAと衝突した。XはAの腕をつかみ謝罪を要求したが、Aが無視して立ち去ろうとしたので、より強くAの腕をつかんで駅長室への同行を求めた。Aは出勤途中で急いでいたため、Xの腕を振りほどこうとしたところ、Xはさらに強くAの腕をつかんで引っ張った。そこでAは、Xの手を振りほどこうとしてXの顔面を押しように平手でたたいたところ、Xの眼鏡が飛び、Xは全治5日の顔面打撲の傷害を負った。これに対しXは、なおもAの腕から手を離さず、Aの着ていたシャツの袖口を強く引っ張ったため、Aは、その場に転倒し、全治1週間の腰部打撲傷を負った。

Xの罪責について述べなさい。

問題 2 (配点 60 点)

Xは、A信販会社に対して自己名義のクレジットカード会員の申込をして受理され、クレジットカードの発行を受けていたが、代金支払の意思も能力もないのに、自己のクレジットカードを利用して、A信販会社の加盟店であるB商店で10万円の宝石を購入した。

Xの罪責について述べなさい。